

第4学年 道徳科学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日（〇）〇校時

学 級：第4学年〇組（〇名）

場 所：4年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇

1 主題名 相手のことを考えた親切 【内容項目 B 親切、思いやり】

2 教材名 「心と心のあくしゅ」（「小学道徳 生きる力4」 日本文教出版）

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について(道徳的価値観)

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」では、【内容項目 B 親切、思いやり】について、中学年は「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」と示されている。よりより人間関係を築くうえで、相手に対して思いやりの心を持ち親切にすることが大切である。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。そのためには、相手の存在を受け入れ、相手のよさを見いだそうとする姿勢が求められる。また、単に手を差し伸べるだけでなく、時には相手のことを考えて温かく見守ることも親切な行為としての表れである。学校生活において、学校の人々や友達など様々な人と直接的に多様な関わり合いをもつ中で、相手のことを親身になって考えて行動したり、時には温かく見守ったりしようとする態度を育てたい。

(2) 価値に関わる児童の実態について(児童観)

本学級には、困っている友達を見かけると、優しく声をかけたり、寄り添ったり、何とかしようとして行動したりしている児童が多い。しかし、他の人々の感じ方や考え方が自分の感じ方や考え方と同様であると思込み、人に親切にする際に、相手の気持ちを考えず、自分の思いだけで行動してしまう児童の姿も見られる。そこで、相手の置かれている状況、困っていること、大変な思いをしていること、悲しい気持ちでいることなどを自分のこととして想像することにより、相手のことを考え、親切な行為を自ら進んで行おうとする態度を育てることが一層重要であると考え。

(3) 教材について(教材観)

本教材は、主人公のはやとが、大きな荷物を持って歩いているおばあさんを助けようと声をかけるが断られてしまうという出来事をきっかけに、おばあさんにとってどうすることが親切な行為なのかを考え、最後は、後ろからそっと見守るという内容である。活用にあたっては、はやとがおばあさんを助けようと声をかける場面と、はやとがおばあさんを後ろから見守る場面を取り上げ、それぞれの場面のはやとの心情を比較しながら考えることを通して、相手のことを考えて行動することのよさに気付くよう導きたい。

4 児童の成長を促すための評価

(1) 本主題における児童の学びの姿

教材の主人公が、相手にとっての親切な行為は何かを考えた末、温かく見守ることを選ぶ姿から、単に手を差し伸べるだけでなく、相手のことを考えて「自分だったらこうしてほしい」ということを相手にすることが大切であるという親切についての理解を深め、これからの生活の中で親切な行為を進んで行おうとする児童の姿を目指す。

(2) 学びにつながる指導

中心発問では、坂道をしんどそうに上るおばあさんを見ているはやとの心情をグループで話し合う。「自分ならどのように行動するか」と問いかけ、自分自身との関わりの中で考えることができるようにする。また、おばあさんの立場に立って考えることができるよう、「自分がおばあさんならどうしてほしいと思うか」と問うことで、自分の思いだけでなく、相手のことを考えた親切について考えることができるようにする。全体交流では、グループの話合いで出し合った意見を基に、はやとが相手のことを考えた親切の大切さに気付いていく心情の変化を共有する。

本時の終末では、事前に実施したアンケートを基に、これまでに相手のことを考えた親切をしたりされたりした経験を想起したうえで、これから人に親切にするときに大切にしたいと思うことをワークシートに記述する。事前アンケートや本時の振り返りを見直す機会を1週間後に設定し、本時の道徳的価値に対する自分なりの課題を改めて考えながら、学習したことをこれから自分の生活や生き方にさらに生かそうとする意欲や態度につなげる。

(3) 児童の学びの姿についての評価とフィードバック

中心発問では、グループで話し合う活動や全体交流における発言や記述から、「道徳的な問題に対して、自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている」姿を評価し、認める言葉がけを用いて積極的にフィードバックを行う。また、発言や記述だけでなく、他者の意見に対してうなずいたり、納得したりしている様子も捉え、個別に言葉がけをしたり、意図的に指名して学級全体に広げたりし、児童一人ひとりの道徳的価値の理解がより深まるようにする。

本時の終末では、児童の発言やワークシートへの記述から、「自分なりの課題を見つけたり、これからの自分の生活や生き方に生かしたりしようとしている」姿を評価する。また、児童の振り返りの記述に対して指導者が引き分けた線を記入することで、児童の成長の実感や意欲につながるフィードバックを行う。

5 本時のねらい

坂道を上るおばあさんを見守るはやとの心情について考えることを通して、親切にするときには、相手にとっての親切について考えることが大切であるという理解を深め、相手のことを考え、親切な行為を自ら進んで行おうとする態度を育てる。

6 本時の展開

	学習活動・主な発問	予想される児童の思い	教師の支援と評価
導 入	1. 事前アンケートの結果を基に、主題について話し合う。		・事前アンケートの結果を示し、児童の親切、思いやりについての意識を整理する。
	○親切にしてもらったり、親切な行動をしたりしたことはあるか。	・親切にしてもらったことがある。だから、友達にも親切にしていきたい。 ・親切にしてもらったとき、あまり嬉しくなかったこともあった。	
	学習のめあて：親切にするときに、どんなことが大切なのか考えよう。		

展 開	<p>2. 教材を読んで話し合う。</p> <p>○おばあさんに声をかけて断られたとき、はやとはどんな気持ちだったのだろうか。</p> <p>○お母さんから話を聞いたとき、はやとはどんなことを考えたのだろうか。</p> <p>◎はやとはどんなことを考えながらおばあさんを見ていたのだろうか。(中心発問)</p> <p>○「心と心のあくしゅ」ができたような気がしたとは、どういうことだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ断ったのだろう。 ・親切のつもりだったのに。 ・本当に大丈夫かな。心配だ。 ・足を治そうとしていたんだ。 ・おばあさんは娘に心配をかけたくないと思っていたのか。 ・声をかけても、また断られるかもしれない。どうするとよいだろう。 ・おばあさんのためになることは何か。 ・おばあさんが心配だけど、今は心の中で応援しよう。 ・おばあさんががんばりたいと思うことを応援できた。 ・おばあさんの思いが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんは断ったが、はやとがした行動は親切な行為であったことを押さえ、これからの親切な行為への意欲を抑えてしまわないようにする。 ・取り上げた二つの場面のはやとの心情を対比して考えることができるように黒板に示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価 (記述・発言)</p> <p>≪視点⑥≫道徳的な問題に対して、自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めているか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんの思いとはやとの思いが一致しているときに「心と心のあくしゅ」ができた気がしたことを押さえる。
	<p>3. 自分の生活を振り返る。</p> <p>○これから親切にするときに大切にしたいことについて考えよう。</p> <p>4. 指導者による説話を聞いて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手にしてあげたりするだけで親切ではないことが分かった。 ・相手のしてほしいことを考えたり、相手に聞いたり、その人にとっての親切をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートを活用し、これまでの自分を想起しながら本時を振り返ることができるようになる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価 (記述・発言)</p> <p>自分なりの課題を見つけたり、これからの自分の生活や生き方に生かしたりしようとしているか。</p> </div>
終 末			

第 回

心と心のあくしゅ

親切にするとき、どんなことが大切なのか考えよう。

はやとの親切(1回目)

「荷物、持ちます。」

⇒にっこり、断られた。

- ・なぜ断ったのだろう。
- ・親切のつもりだったのに。
- ・本当に大丈夫かな。心配だ。



【お母さんからの話】

- ・いいことをしたわね。
- ・少しもまちがっていないわ



おばあさんの本当の気持ちが
分かったような気がした。

- ・自分で歩けるようになりたい。
- ・娘に心配をかけたくない。

はやとさんは、どんなことを考えながらおばあさんを見ていたのでしょうか。

- ・声をかけても、また断られるかもしれない。どうするとよいのかな。
- ・おばあさんのためになることは何かな。

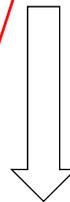
- ・おばあさんが心配だけど、今は心の中で応援しよう。



はやとの親切(2回目)

そっとおばあさんの後ろ
をついて歩いた。

おばあさんの笑顔



「心と心のあくしゅ」をした
たような気がした。

なぜだろう？

- ・おばあさんのがんばりたいと思うことを応援できた。
- ・おばあさんの思いと自分の思いが同じだった。